

秋田県の農林水産業の概要

特徴・取組

秋田県の県土面積は約116万haで、その72%に当たる約84万haが森林で、13%に当たる約15万haが耕地として利用されている。耕地面積は全国第6位で、特に雄物（おも）川や米代（よねしろ）川などの主要河川流域の盆地や海岸平野に広大で肥よくな耕地が開け、農業に適した条件となっている。

気候は、典型的な日本海岸気候で、冬期間の積雪寒冷気候が農業振興を図る上で大きな制約となっている。一方、夏期は梅雨が短く比較的冷涼であるため、野菜や花きの生産に好適であるとともに、水稻生育期間中は気温が十分に確保され気温の日較差も大きく、米づくりに向いた気候となっている。

農林水産部門の就業人口は、平成2年から令和2年にかけて、62%減少し、40,122人となった。これにより、総就業人口に占める割合は30年間で半減し、8.6%となっている。

就業人口を産業別にみると、（令和2年度）第3次産業の割合が66.1%、次いで第2次産業が23.6%、第1次産業は8.8%となっている。

近年では第1次産業の割合は大きく低下しているものの、古くから農林業が主力産業として栄えてきたことから、第1次産業の割合が全国と比べ高くなっている。

令和2年度の県内総生産（名目）に占める農林水産業の割合は、3.0%となっている。一方、令和5年度の耕地面積に占める水田の割合が88%（全国54%）、農業産出額に占める米の割合が51%（全国15%）と、他県に比べて米の割合が高いが、近年は野菜や畜産等の生産が拡大している。

農林水産業が魅力的な地域産業として発展できるよう、農業者や地域の意欲ある取組を積極的に支援したことで、園芸メガ団地・大規模畜産団地の整備や、えだまめ・ねぎ・しいたけ等の日本一を目指した産地づくりが進んだほか、「秋田牛」の販路拡大、果樹・花きのオリジナル品種や秋田米新品種「サキホコレ」の育成など、農業の基盤が整備された。

林業については、県内森林の半分が植栽等により造林された人工林で、全国屈指の資源量を誇っており、その9割を占めるすぎが本格的な利用期を迎えていることから、公共建築物の木造化等、県産材の利用が推進されている。

水産業については、つくり育てる漁業の積極的な推進により、トラフグ・キジハタ種苗の生産及び育成技術開発や、マダイやヒラメ・アワビの種苗放流により資源の維持・増大が図られている。

主な農林水産物

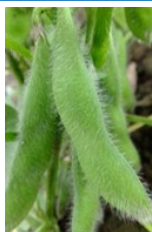
米
主力品種の「あきたこまち」は作付面積の7割を占める。新品種の「サキホコレ」は令和4年産で本格デビュー。
（収穫量全国3位）



ねぎ
園芸メガ団地主力品目。山本地域を中心に生産。「白神ねぎ」「秋田美人ねぎ」の名称でブランド化。
（収穫量全国8位）



えだまめ
日本一を目指して、生産者、関係機関が一体となって生産を振興。品種の組合せによる長期出荷（7～10月）に取り組む。
（収穫量全国6位）



アスパラガス
園芸振興に向けた主力品目として、全県において露地、半促成栽培の組合せにより生産。
（収穫量全国10位）



りんどう
中山間地を中心に夏場の冷涼な気候と水田を活用し、「秋田りんどう」のブランドで生産を拡大。
（出荷量全国2位）



しいたけ
降雪の多い県内でも周年生産できる品目。京浜地区中央卸売市場「販売三冠王」を4年連続で獲得。（生しいたけ生産量全国4位）



りんご
鹿角・平鹿地域が主な産地。県オリジナル品種「秋田紅あかり」などの導入を進め、産地化や輸出を推進。
（収穫量全国6位）



すぎ
秋田すぎの天然林は、日本三大美林の一つ。人工林面積は全国一で、間伐や再造林を促進し、木材優先利用に取り組む。
（生産量全国2位）



比内地鶏
県を代表する特産品。食文化の維持や食産業振興の観点からも重要な品目。北秋田地域を中心に令和5年は、42.5万羽を生出荷。



はたはた
最重要魚種。漁獲量は減少傾向にあるが、水揚げ日数の制限などにより資源回復に取り組む。
（漁獲量全国3位）



秋田県内の各地域における農林水産物

県全域

【農畜産物】水稲、大豆、えだまめ、ねぎ、そば、肉用牛、乳用牛、豚

【林産物】すぎ、しいたけ、わらび

山本地域

【農畜産物】花みょうが、ミニトマト、アスパラガス、キャベツ、うど、じゅんさい、りんどう、きく、比内地鶏

【林産物】まいたけ、ねまがりたけ

【水産物】はたはた、あまだい、あわび、うすめばる、たら

秋田地域

【農畜産物】メロン、キャベツ、かぼちゃ、たまねぎ、日本なし、ぶどう、きく、ダリア、イチジク、鶏卵

【林産物】まいたけ

【水産物】はたはた、あまだい、たら、あわび、北限のふぐ、しらうお、わかさぎ

由利（ゆり）地域

【農畜産物】アスパラガス、ミニトマト、キャベツ、さやいんげん、かなかぶ、イチジク、りんどう、きく、ばら、トルコギキョウ、比内地鶏

【林産物】ぶなしめじ、ねまがりたけ

【水産物】はたはた、あまだい、たら、あわび、ずわいがに

雄勝（おがち）地域

【農畜産物】すいか、トマト、きゅうり、ひばり野オクラ、せり、おうとう（さくらんぼ）、りんご、ぶどう、関口（せきぐち）なす、ひろっこ（あさつきの若芽）、平良（たいら）かぶ、ストック、トルコギキョウ、きく、りんどう、鶏卵

【林産物】ねまがりたけ

鹿角（かづの）地域

【農産物】きゅうり、トマト、アスパラガス、松館（まつだて）しぼり大根、りんご、北限の桃、ゆり、トルコギキョウ、きく、

【林産物】ねまがりたけ

北秋田地域

【農畜産物】きゅうり、やまのいも、にんにく、ホップ、アスパラガス、大館とんぶり、りんご、日本なし、ダリア、比内地鶏、鶏卵

【林産物】からまつ、ねまがりたけ

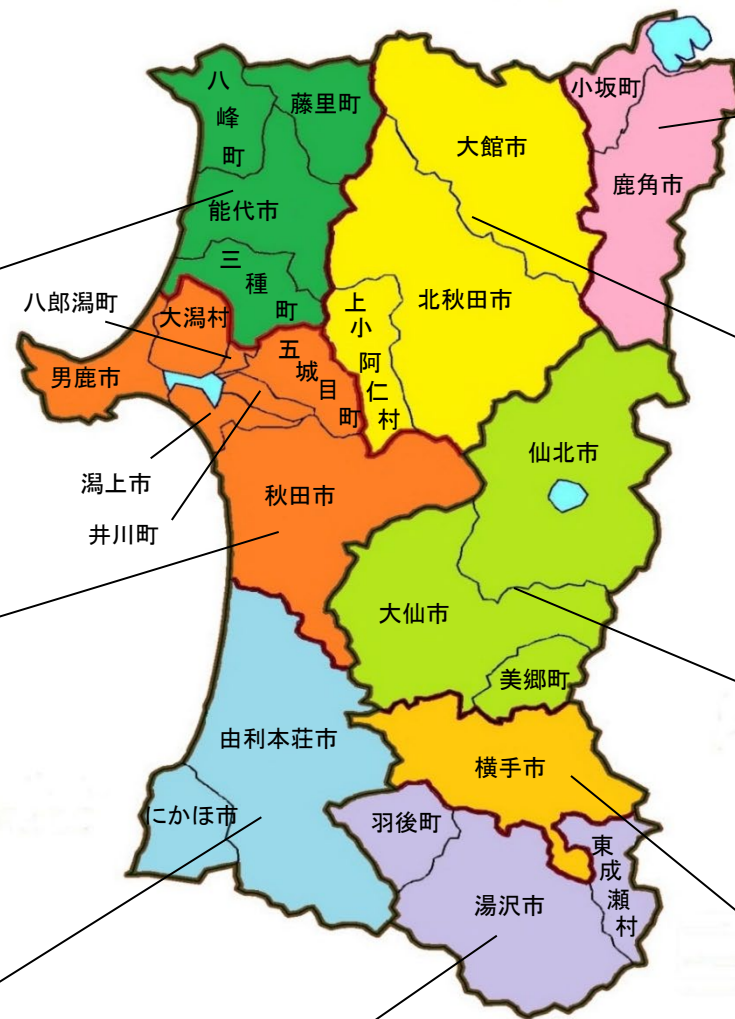
仙北（せんぼく）地域

【農畜産物】トマト、アスパラガス、きゅうり、ほうれんそう、りんどう、きく、トルコギキョウ、ダリア、ケイトウ、鶏卵

平鹿（ひらか）地域

【農畜産物】すいか、きゅうり、トマト、アスパラガス、ほうれんそう、さといも、食用ぎく、ホップ、りんご、ぶどう、おうとう（さくらんぼ）、山内（さんない）にんじん、きく、トルコギキョウ、ゆり、鶏卵

【林産物】なめこ、ぶなしめじ



秋田県の農業（１）

- ・耕地面積は14万6,000haで全国6位。うち田が12万8,100ha、畑が1万7,900ha。
- ・農業経営体数は2万8,947経営体で全国14位。うち法人経営体が710経営体で15位。
- ・認定農業者数は8,494経営体で全国5位。うち法人数が845法人で6位。

耕地面積

区 分	秋 田 県	全 国	全国順位
耕地面積	146,000 ha	4,297,000 ha	6
田	128,100 ha	2,335,000 ha	3
畑	17,900 ha	1,962,000 ha	23
普通畑	11,900 ha	1,120,000 ha	20
樹園地	2,090 ha	253,500 ha	34
牧草地	3,910 ha	589,000 ha	8
参考）総土地面積	1,163,752 ha	37,797,539 ha	6

出典：「令和5年耕地面積（7月15日現在）」、「令和6年全国都道府県市区町村別面積調（1月1日時点）」（国土交通省国土地理院）

荒廃農地面積

区 分	秋 田 県	全 国	全国順位
荒廃農地面積	830 ha	253,217 ha	43

出典：「令和4年度の荒廃農地面積（令和5年3月31日現在）」

担い手への農地の集積状況

区 分	秋 田 県	全 国	全国順位
担い手への集積面積	104,342 ha	2,573,672 ha	3
集積率	71.3 %	59.5 %	2

出典：「農地中間管理機構の実績等に関する資料（令和4年度版）」

都道府県の農業、林業、漁業の表の見方

- ・令和6年3月31日時点における最新の統計等の公表データを使用
- ・表中に使用した記号は次のとおり

「○」：単位に満たないもの（例：0.4t→0t）

「－」：事実のないもの

「…」：調査を欠くもの

「×」：秘密を保護するため統計数値を公表しないもの。

「＊」：秘密を保護するため統計数値を公表していない都道府県を除いた順

農業経営体数、農家数及び集落営農数

区 分	秋 田 県	全 国	全国順位
農業経営体数	28,947 経営体	1,075,705 経営体	14
法人経営体	710 経営体	30,707 経営体	15
総農家数	37,116 戸	1,747,079 戸	22
販売農家	27,780 戸	1,027,892 戸	15
参考）世帯総数	385,187 世帯	55,830,154 世帯	40
集落営農数	737 集落営農	14,204 集落営農	3

出典：「2020年農林業センサス（令和2年2月1日現在）」、「令和2年国勢調査」（総務省統計局）、「令和5年集落営農実態調査結果（令和5年2月1日現在）」

基幹的農業従事者数及び認定農業者数

区 分	秋 田 県	全 国	全国順位
基幹的農業従事者数	33,720 人	1,363,038 人	18
男	21,479 人	822,144 人	18
女	12,241 人	540,894 人	18
65歳以上	24,138 人	948,621 人	17
基幹的農業従事者数に対する65歳以上割合	71.6 %	69.6 %	－
認定農業者数	8,494 経営体	219,846 経営体	5
法人数	845 法人	28,720 法人	6
参考）総人口数	959,502 人	126,146,099 人	38

出典：「2020年農林業センサス（令和2年2月1日現在）」、「認定農業者の認定状況（令和5年3月末現在）」、「令和2年国勢調査」（総務省統計局）

秋 田 県 の 農 業 (2)

- ・農業産出額は1,670億円で全国19位。うち米が852億円（51.0%）、野菜が295億円（17.7%）、畜産が378億円（22.6%）。
- ・農畜産物の生産状況は、りんどう、ホップが全国2位、水稻、大豆が3位、おうとう（さくらんぼ）が4位、えだまめ、りんごが6位。
- ・農業生産関連事業は、農家民宿の年間販売（売上）金額が5,400万円で全国21位、経営体数は30経営体で9位。

農業産出額

区 分	秋田県	全国	全国順位
農業産出額	1,670 億円 (100.0)	90,015 億円 (100.0)	19
米	852 億円 (51.0)	13,946 億円 (15.5)	3
麦類	0 億円	647 億円	25 *
雑穀	3 億円	83 億円	8
豆類	16 億円	715 億円	7
いも類	7 億円	2,199 億円	28
野菜	295 億円 (17.7)	22,298 億円 (24.8)	26
果実	85 億円 (5.1)	9,232 億円 (10.3)	25
花き	25 億円	3,493 億円	37
工芸農作物	4 億円	1,551 億円	27
その他作物	5 億円	607 億円	26 *
畜産	378 億円 (22.6)	34,678 億円 (38.5)	27
肉用牛	58 億円	8,257 億円	32
乳用牛	27 億円	9,013 億円	36
生乳	25 億円	7,916 億円	36
豚	186 億円	6,713 億円	12
鶏	101 億円	9,716 億円	29
鶏卵	89 億円	5,638 億円	23
ブロイラー	x 億円	3,940 億円	- *
その他畜産物	6 億円	979 億円	11
加工農産物	0 億円	565 億円	40

出典：「令和4年生産農業所得統計」

注：()は農業産出額を100%とした割合である。

農畜産物の生産状況

区 分		年次	秋 田 県	全 国	全国順位
水稻	収穫量	R5	458,200 t	7,165,000 t	3
大豆	収穫量	R4	11,500 t	242,800 t	3 *
そば	収穫量	R4	1,290 t	40,000 t	7 *
えだまめ	収穫量	R4	4,540 t	65,200 t	6
ねぎ	収穫量	R4	13,600 t	442,500 t	8
アスパラガス	収穫量	R4	1,250 t	26,000 t	10
おうとう（さくらんぼ）	収穫量	R5	420 t	17,300 t	4
りんご	収穫量	R5	16,300 t	603,800 t	6
りんどう	出荷量	R4	9,630 千本	73,100 千本	2
ホップ	生産量	R4	47 t	166 t	2

出典：「作物統計」、「野菜生産出荷統計」、「果樹生産出荷統計」、「花き生産出荷統計」、「ホップに関する資料」

農業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

区 分	秋 田 県	全 国	全国順位
農産加工	総額 7,237 百万円 事業体数 740 事業体	1,012,818 百万円 28,980 事業体	36 13
農産物直売所	総額 10,266 百万円 事業体数 430 事業体	1,087,897 百万円 22,380 事業体	43 24
観光農園	総額 271 百万円 経営体数 40 経営体	35,999 百万円 5,090 経営体	33 33
農家民宿	総額 54 百万円 経営体数 30 経営体	4,565 百万円 1,170 経営体	21 * 9 *
農家レストラン	総額 429 百万円 事業体数 20 事業体	35,236 百万円 1,330 事業体	32 * 18 *

出典：「令和4年度6次産業化総合調査結果」

秋 田 県 の 林 業

- ・林業産出額は208.9億円で全国7位。うち木材生産が166.5億円、栽培きのこ類生産が41.6億円。
- ・林産物の生産状況は、素材生産量が全国4位、その他きのこ（バイリング）が1位、すぎが2位、生しいたけ、ねまがりたけが4位、わらびが6位。

林業産出額

区 分	秋 田 県	全 国	全国順位
林業産出額	208.9 億円	5,806.6 億円	7
木材生産	166.5 億円	3,604.6 億円	4 *
栽培きのこ類生産	41.6 億円	2,079.5 億円	12

出典：「令和4年林業産出額」

林産物の生産状況

区 分	秋 田 県	全 国	全国順位
素材生産量	1,223 千m ³	22,082 千m ³	4 *
針葉樹	1,160 千m ³	20,386 千m ³	5
すぎ	1,112 千m ³	13,238 千m ³	2
あかまつ・くろまつ	11 千m ³	559 千m ³	8
広葉樹	63 千m ³	1,696 千m ³	6 *
生しいたけ	生産量 4,141 t	69,532 t	4
その他きのこ（バイリング）	生産量 58 t	119 t	1
ねまがりたけ	生産量 9 t	77 t	4
わらび	生産量 24 t	649 t	6

出典：「令和4年木材需給報告書」、「令和4年特用林産基礎資料」

林野面積

区 分	秋 田 県	全 国	全国順位
林野面積	832,517 ha	24,770,201 ha	6
国有林	371,837 ha	7,153,338 ha	4
民有林	460,680 ha	17,616,863 ha	11
人工林面積	405,970 ha	10,133,111 ha	4

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」

林業経営体数

区 分	秋 田 県	全 国	全国順位
林業経営体数	1,010 経営体	34,001 経営体	10
法人経営体	133 経営体	4,093 経営体	6

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」

製材工場数

区 分	秋 田 県	全 国	全国順位
工場数	74 工場	3,804 工場	25
製材用素材の入荷があった工場数	74 工場	3,778 工場	25
国産材のみ	74 工場	3,054 工場	17
国産材と輸入材	- 工場	560 工場	-

出典：「令和4年木材需給報告書」

秋 田 県 の 漁 業

- ・ 漁業産出額のうち、海面漁業・養殖業産出額は28億円で全国38位。
- ・ 水産物の生産状況は、海面漁業のはたはたが全国3位、海面養殖業のわかめ類が11位、内水面漁業のわかさが2位。
- ・ 漁業生産関連事業は、水産物直売所の年間販売（売上）金額が5億円で全国19位、事業体数は10事業体で19位。

漁業産出額

区 分	秋 田 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業産出額	28 億円	14,372 億円	38

出典：「令和4年漁業産出額」

漁業経営体数

区 分	秋 田 県	全 国	全国順位
海面漁業経営体数	632 経営体	79,067 経営体	32
内水面漁業経営体数	122 経営体	4,772 経営体	10

出典：「2018年漁業センサス（平成30年11月1日現在）」

漁業就業者数

区 分	秋 田 県	全 国	全国順位
海面漁業就業者数	773 人	151,701 人	38
男	740 人	134,186 人	38
女	33 人	17,515 人	35

出典：「2018年漁業センサス（平成30年11月1日現在）」

漁船隻数

区 分	秋 田 県	全 国	全国順位
漁船隻数	888 隻	132,201 隻	32
動力漁船	351 隻	69,920 隻	36

出典：「2018年漁業センサス（平成30年11月1日現在）」

水産物の生産状況

区 分	秋 田 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業生産量	5,669 t	3,862,831 t	36 *
海面漁業漁獲量	5,527 t	2,950,992 t	37
はたはた	196 t	3,144 t	3 *
あまだい類	88 t	1,186 t	4
海面養殖業収穫量	142 t	911,839 t	35 *
わかめ類	136 t	46,929 t	11 *
内水面漁業・養殖業生産量	252 t	54,115 t	29 *
内水面漁業漁獲量	217 t	22,612 t	12
わかさぎ	202 t	675 t	2
内水面養殖業収穫量	35 t	31,503 t	33 *
あゆ	13 t	3,683 t	13 *

出典：「令和4年漁業・養殖業生産統計」

漁業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

区 分	秋 田 県	全 国	全国順位
水産加工			
総額	258 百万円	181,820 百万円	34 *
事業体数	10 事業体	1,460 事業体	26 *
水産物直売所			
総額	545 百万円	37,410 百万円	19 *
事業体数	10 事業体	840 事業体	19 *
漁家民宿			
総額	x 百万円	5,986 百万円	- *
経営体数	x 経営体	740 経営体	- *
漁家レストラン			
総額	x 百万円	11,598 百万円	- *
事業体数	x 事業体	420 事業体	- *

出典：「令和4年度6次産業化総合調査結果」

秋田県の農林水産業の話題等（１）

農産物の輸出促進に向けた取組

秋田牛の輸出促進として、タイでは知事によるタイパラリンピック委員会会長への秋田牛アンバサダー委嘱式、秋田牛試食会、カット技術講習会を開催した。台湾では、秋田牛輸出コンソーシアムと連携し、試食プレゼン会、カット技術講習会、ホテルでのメニューフェア、現地の食品や観光事業者へのプロモーション、スーパーマーケットでの試食販売会、イベント会場での試食PRを行った。現地関係者との連携強化を図りながら、販路の多角化に向けた取組を実施している。

台湾やタイ向け果実の輸出産地を育成するため、防除技術実証ほの設置等を実施したほか、海外ニーズに即した輸出向け果実モデルの園地造成支援を行っている。台湾やタイへの果実輸出は徐々に拡大しており、りんごは台湾に2.1t、タイに0.2t輸出された（R4年）。

インバウンドが多い沖縄において、海外消費者の嗜好を取り込んだ商品開発を進めるとともに、ポップアップストアを設置して県産食材をPRする秋田県フェアを開催した。次年度以降のアジア圏への輸出に向けた商品をブラッシュアップする機会となっている。



秋田牛輸出促進

サキホコレのブランド確立

「サキホコレ」は、平成30年度に「秋系821」に候補を絞り込み、令和2年に品種名を「サキホコレ」に決定し、令和3年の先行販売を経て令和4年に本格デビューした。

令和2年度以降、「秋田米新品種ブランド化戦略」に基づき、全国トップブランドとしての地位を確立するため、高品質な米の安定供給に向けた生産対策、訴求力のあるブランドイメージと販売チャネルの構築を目指す流通・販売対策、ファンの獲得に向けた戦略的な情報発信などを総合的に実施している。

令和5年3月には、情勢の変化を踏まえ、高品質・安定生産を推進しながら、販売チャネルの拡大と認知度の向上を図るなど、取組を一層強化するといった基本的な考え方に基づき、「第2期秋田米新品種ブランド化戦略」を策定し、令和5年度以降においても取組を更に強化している。



サキホコレのPRポスター

秋田県の農林水産業の話題等（２）

「NAMAHAJE®ダリア」のブランド化と10周年デザイン展の開催

平成24年に秋田県オリジナル品種としてデビューした「NAMAHAJE®ダリア」の10周年を記念して、令和4年10月8日～13日に秋田市文化創造館・秋田芸術劇場ミルハスにて「NAMAHAJE®ダリア10周年デザイン展」を開催している。

また、9日には、育種家や県担当者、デザイナー、カメラマンが、NAMAHAJE®ダリアの育種や生産状況、ポスターデザインに係るトークショーを行った。

NAMAHAJE®ダリア育種家の鷺澤幸治会長及び鷺澤康二園長、ダリア栽培技術アドバイザーへのインタビューや、ポスター撮影と印刷現場の様子などを集約した「NAMAHAJE®ダリアブランドBOOK」を10周年デザイン展に合わせて作成し、デザイン展来場者に配布したほか、県内のダリア農家、市場、仲卸、関係機関にも配布している。

令和5年度は生産現場の紹介を軸とした「ブランドBOOK第2弾」を作成した。



10周年デザイン展会場の様子



「NAMAHAJE®ダリア」

マーケットに対応した複合型生産構造への転換

産地の生産性を高めて収益力の向上を図るため、地域が主体となって品目や目標を定め、その実現に向けて、メガ団地の整備やスマート農業技術の導入などに取り組む産地を支援している。

えだまめやねぎについては、スマート農業技術と環境にやさしい栽培技術を組み合わせた新たな栽培体系を実証するほか、アスパラガスでは、半促成栽培マニュアルを作成し、全県域に作付拡大を図っている。農業者の所得向上に向け、排水対策の普及拡大や篤農家の技術を活用した優良事例の横展開を図るなど、重点野菜6品目（上記3品目、トマト、きゅうり、すいか）を中心に地域単収の底上げと品質向上に向けた取組を支援している。

需要が堅調で機械化体系が確立されているにんにくやたまねぎについては、水田を活用した大規模土地利用型野菜産地育成に向け、全県域への普及拡大を図っている。



アスパラガスのハウス半促成栽培実証ほ場